

経営資料

No.177 会社訪問

代表取締役社長 國井 康裕 氏



聞き手：梅垣喜通（広報委員長）、岡田康弘（事務局長）、取材・撮影・編集：クリエイティブ・レイ㈱

株式会社コクゴ

会社プロフィール

代表者：代表取締役社長 國井 康裕

本社：〒101-8568 東京都千代田区神田富山町 25 番地

TEL：03-3254-1346 FAX：03-3252-5499

大阪支店：〒530-0043 大阪市北区天満 3 丁目 11 番 1 号 アーバンスクエア 1

TEL：06-6353-8192 FAX：06-6353-8305

名古屋支店：〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目 20 番 28 号 プライムアーバン泉

TEL：052-211-7600 FAX：052-211-7601

※他の支店：青森・いわき・茨城東海・福岡

物流センター：東京・埼玉・大阪ロジテックスセンター 品質保証部：東京足立工場

創業：1945年9月 設立：1947年9月

資本金：2000万円

従業員：113名

事業内容：ゴム・プラスチック・同付帯する金属製品（医療関連・理化学研究
関連・電子工業関連・産業設備関連・食品関連・エネルギー関連）
の特注品の設計・製造・販売および汎用品の販売

URL：http://corporate.kokugo.co.jp



ゴム・プラスチック・金属製品の取扱いを中心に、消耗品から
機器関連まで研究、医療、工業分野に幅広く貢献するコクゴ

御社の主な事業内容や特徴・特色をお聞かせください。

創業時は主に医療、理化学、家庭用のゴム・プラスチック（合成樹脂）製品の開発・販売を目的として事業をスタートさせました。

その後、作業用手袋やゴム板、コンベヤベルトなどの工業用品関係の商材も取扱いを開始し、現在ではゴム・プラスチック製品をはじめデシケーターやボトル・容器等の『研究実験用器具製品』や、作業用及び食品関係で使用用手袋や防護服・マスクなどの『安全保護具製品』、計測器・工具・運搬機をはじめとした『産業用機器関連製品』などの各産業に使用される消耗品から、装置などの部品まで幅広い商材を取り扱っております。取り扱い品目は増えておりますが、創業以来一環として医療、理化学の研究開発部門や、工業関係などの産業向けに展開しております。

3年前に中期経営計画(5ヶ年)を打ち出しました。近年目まぐるしく変化するビジネスシーンに対応していくべく中期計画です。当社は2004年からeコマースをスタートし、20年が経過しました。日進月歩進化するこの分野も更に販売のサービスを強化しております。

また、ゴム・プラスチック・金属等の機能性素材の加工をメインとした『ものづくり』にも力を入れおります。当社にはSE

が4名在籍しており、お客様のニーズに合わせた、設備品や装置、部品、治工具等の設計を行っております。ご依頼に応じて素早い対応を信条とし、開発・設計、精密製品・システムづくりに対応しております。

10年程前から3Dプリンターを導入し、2年程前に新たに新調、よりお客様の要望、ご依頼いただいた製品企画時におけるデザインイメージの具体的な確認、基本仕様、デザイン検討といった製品開発における“試作検証”を3Dプリンターで出力し実際に手に取って確認できるサービスをおこなっております。3Dプリンターによる試作品の出力で、試作検証時に金型が不要となり大幅なコストダウンが可能で、設計変更による金型修正もなくスピーディーに検討が可能です。これからの付加価値のあるサービス向上を目指していきます。

創業当時から現在までのあゆみをお聞かせください。

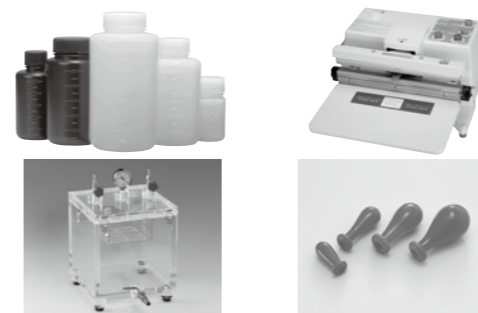
創業は昭和20年(1945年)で、祖父である國井護が、東京の千代田区神田富山町で医療・理化学用ゴム製品の販売を目的に創業しました。出身は福島県いわき市出身で漁業を営む家系で生を受け、商人を目指し高等小学校卒業後に上京し、東京神田に親戚が経営していた会社に務めます。第二次世界大戦の終結後に神田周辺も一面焼け野原

で勤めていた会社も再建の動きが無く、経済的にも余裕のなかった為、自ら会社を立ち上げたと聞いています。

社名は、創業当時はコクゴ商会でスタートしましたが、昭和27年に事業拡大を目的とし『國護ゴム』に社名変更しました。その後、取扱製品が増加に従い、ゴム素材以外の製品が増えてきたため『國護ゴム』という社名では、会社の実態や商売内容を表していないこともあり、昭和52年に現在の『コクゴ』に改めました。社名の由来は國井護という自分の名前から“國”と“護”の字を採り、音読にしたものです。創業時は妻であるシズと従業員3名の5名体制で運営しておりました。戦後の混乱も治まり始めた昭和22年あたりから、日本経済も再建へのスタートを切り出し、経済再建と歩調を合わせるように、工業用ゴム製品の需要が伸び、コクゴも主力である医療・理化学用ゴム製品の他に、作業用手袋やゴム板などの工業用品も取扱いを開始しました。

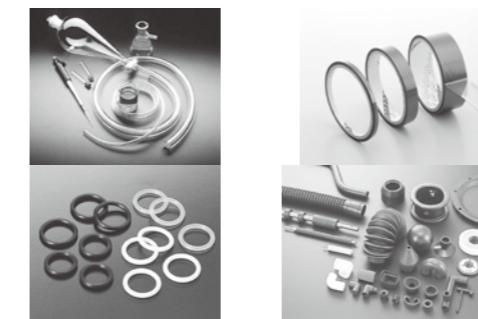
昭和30年頃には、当社オリジナル製品でもある超強力耐酸性手袋『エフテロングローブ』や、放射性物質取扱うグローブボックス用ロンググローブ『エラストイト手袋』が販売

研究・実験用器具製品



デシケーター・ボトル容器・栓・スポイト類をはじめ、様々な用途に使用される各種科学機器・研究実験用需要品をサポート。

産業用ゴム・プラスチック製品



ゴム・樹脂を主要素材としたチューブ・ホースなど、産業界に欠かせない工業用ゴム・プラスチック製品類。特殊用途製品。

戦線加わり、今でも当社の主力製品となっております。また当時、現在ではダイビングをはじめスポーツやレジャーに広く普及しているウエットスーツの開発を手掛けていたことがあります。『冷たい海に潜っても寒くない服を作りたい』というご依頼があり、スポンジメーカーと共同で研究を開始します。試作品で潜水試験後に改良を重ね、商品化されました。その後、販売に力を注ぎましたが、当社の業態と違いすぎることなどでウエットスーツ販売から撤退しましたが、日本で初めて開発したのがコクゴであったと先人より聞きました。

昭和40年過ぎには、現在は閉山されてしまいましたが、当時“黒いダイヤ”と言われた福島県の常磐炭抗との取引も開始されベルトコンベア用のコンベアベルトも受注となり一つの柱となりました。

現在では事業も拡大し、本社のほか営業拠点は青森から九州まで6拠点、物流センターを東京・埼玉・大阪3拠点設け、埼玉の物流センター内には品質保証部・東京工場を配置しております。これからも品質及びサービスの向上を図っていく事が我々の目標です。

安全保護具製品



工業から家庭用まで各種作業に伴うリスクから作業を守る安全保護用品。手袋などのプロテクト・サニタリー・標準関連品。

産業用機器関連製品



計測器、工具、運搬機をはじめとする機器類。保管、整理、設備など幅広い分野に対応する産業用機器関連製品。

経営資料

経営資料

これまでに、経営者として強く印象に残った出来事があれば、お聞かせください。

私は、2年前の6月に事業を承継しました。まだ経営者としては経験も浅く学ぶべき事が多くあります。社長に就任して間もなく、(株)ダイヤモンド社が主催するダイヤモンド経営塾に1年間入塾しました。こちらは、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、リーダーに必要な要諦を学ぶ場として、さまざまな企業の経営者の方が、実戦と経験を通じて培った経営理論を講義され、毎月1度講習があり、年間12回ありました。

その中でも印象に残ったのが、『働き方』についての講義が多くあった事です。「経営トップが意思を示すが、現場のやる事に口を出してはいけない」「社員の多様性を重視。価値観を人に押し付けない」「年功序列ではなく実力があればリーダーに抜擢する」「若手を中心に企画・立案を立てる」など、多くを学びました。

ある企業の取組がとても斬新で、すごいと思ったのが、18歳以下の方を社外取締役として募集し、期間限定で採用するというものでした。若い人たちの考え方を取込み社会問題の解決に向けて活動されており、新しく現代に合った取り組みだと感じました。

当社も、70年以上の歴史の中で、これまで培われた伝統、文化があります。良き風習は残しながら、新しい文化、社風を作り上げていく事が私の責務であると強く感じさせられました。

昨年度は東京ビックサイトにて東京都が主催する展示会に初出展したのですが、ダイヤモンド経営塾での、これらの学びの中から「そうだ！若手中心で組み立てていこう」と思い、入社2～3年目の社員に計画、進行を任せました。異業種の展示会でもあったので的を絞らず、社員それぞれが展示したいと思う当社の取扱い製品をプレゼンしてもらい意気込みを確認し展示に採用しました。他にもレイアウト等すべて自分たちで準備してもらい、展示期間中も他社のブースを見て回り、当社で取り入れたいと感じた製品やサービスを発掘し、後日社内プレゼンをしてもらい課題を与えました。展示会は無事に盛況のうちに修める事が出来ました。課題を与えていたプレゼンは、若手社員も熱心に取組んできた様子も伺え、私もプレゼンに参加したのですが、私よりも上手く頼もしさを感じました。この様な活動を取り入れながら、社員それぞれが持つ理想を体現できる企業風土にしていきます。

これまでに、困難だと感じた出来事をお聞かせください。

ここ数年は、おかげさまでもちまして業績の方は計画通りに推移しております。

先ほどもお話させて頂きましたが、社長歴も浅く経験を積み重ねていかなければと感じております。それまでは副社長という立場で私にとっては経営を十分に学べる期間でした。最終決裁するわけではなく、判断に苦しみることがあれば正直「社長」に判断を委ねられました。社長を譲り受けてから身をもって改めてわかった事です、会社の様々な取り組みを“最終決裁”することは何とも言いがたい重責を感じます。自分ですべての責任を負うと思うと、眠れなくなることも多々ありました。私はなんでも起用にこなせるタイプではなく、不器用な方です。これまでの社長のイメージは『すべての事がわかり、強いリーダーシップで率先垂範』でいなければいけないイメージをもっていました。

それに越したことはないと思いますが、皆そうではない。それぞれに個性があり、得意不得意がある。できないことはできる人に任せればよい。と、出来ないことを伸ばしていくのでは無く、できることを伸ばしてしていく事がこれからの時代には大切であると、外部研修や会社の先輩からアドバイスをもらい、考え方も変わりました。これは自分にとっては小さく凝り固まっていたものが改善されたことでした。それから出来ること出来ないことを明確にし、スタッフと役割を明確にしました。会社のビジョンを共有しそれぞれの力を伸ばしていける会社にしていきたいのが、今の率直な気持ちです。

御社の経営方針や経営理念をお聞かせください。

平たく申し上げますと3点、「人類社会の進歩発展に貢献する」こと、「社員の豊かな生活を実現する」こと、「社業の限りない発展を実現する」ことであります。先ほど中期経営計画について、お話しさせて頂きましたが、この計画を実現していく上で「中期経営計画書」を作成し、認識共有の為、全社員に渡しております。その中で、改めてコクゴの企業理念はどの様なものなのかを解説を記しました。

まず1点目の「人類社会の進歩発展に貢献する事」については、当社の取扱い商品やサービスを通じて、常に社会のニーズに合う商材を提供し、社会貢献していくこと。

また、SDGsへの取組みにより、持続可能な社会の実現を目指しています。商売は、世のため、人のために奉仕して、当社は適切な利益を得るとい、いわゆる「三方よし」の経



営を進め、社会貢献を実現していくことにあります。

2点目「社員の豊かな生活を実現する」について、社員の雇用を守ることを第一義とし、出来る限り待遇の向上を目指しています。また、社員同士が人格を尊重し、差別やハラスメントの無い働き易い職場環境づくりに取り組んでおります。

3点目「社業の限りない発展を実現する」については、人類、社会の進歩発展に貢献すること、社員の豊かな生活を実現することは、会社の業績が伴わなくては実現できません。常にチャレンジ精神を持って事業機会を捉え、イノベーションを起しながら日々成長していく事を表しております。「徒に利益を追求するのではなく、世に貢献したい」という創業者の想いが今もコクゴの企業理念として高く掲げられています。

現在の課題や今後の事業目標などをお聞かせください。

近々の課題は、採用がとれないということです。毎年新卒者を2～3名は採用してきましたが、応募が無い状況が続いております。大学の就職課へ行ったり、企業説明会を開催したりしていますが、厳しい現状です。また中途採用も募集しており、『マイナビ』や『doda』等の媒体も登録していますが、苦戦しております。

また、2024年問題が迫っており、物流コストの合理化に向け取り組んでおります。

今後の事業目標としては、現在取り組んでいる中期計画を計画通りに達成させる事と、働き方改革を進めていく事で

経営資料

す。100人いれば100通りの考え方があるように、会社としても多様な個性を尊重していきたいと感じています。社員がやりがいを持って個々の理想を体現できるような企業風土にしていく事が、これからの時代には必要だと思っています。

当社もテレワークやフリーアドレス化も少しずつ進めております。今年の春頃には本社にリフレッシュルームが完成予定です。一気にすべてを変えていく事は出来ませんが、スモール体験を積み重ねて“柔軟で自由な社風”を目指して取り組んでいきたいと思ひます。

そして、いろいろな自由な発想で個々の得意分野を発揮し、より良いサービスの向上をご提供できる企業にしていきたいと思ひます。

ここからは、國井社長の個人的なことをお聞かせください。座右の銘などはございますか。

「座右の銘」ではありませんが、意識している言葉に「身心一如」という禅語があります。私たちの身と心、つまり肉体と精神は一つであるという教えです。

家系が禅宗というわけではありませんが、以前ご縁があり5年ほど継続的に坐禅を組んでいる時期がありました。坐禅中は心が定まっていなくて、姿勢が前のめりになったり、斜めになったり、眠くなります。所作が重要であることを教わりました。

私はあがり症で緊張しやすいのですが、緊張してものごとに手がつかない時、モチベーションが落ちている時等、深呼吸して所作を整えるようにしております。

趣味や余暇に楽しんでいるスポーツなどはございますか。

趣味は運動が好きなので、ジョギングや筋トレをしています。たまにマラソン大会や、ボディコンテストにも出場しています。

休日は、ここ1年ほど朝の5時過ぎに走り始めるのですが、早朝の空気がとても清々しく感じ、習慣化しました。主に多摩川を走っておりますが、澄んだ空気の中、朝日が昇ってくるのを感じながら走るの、とても癒しになっております。

協会へのご意見やご要望などがあればお願いします。

会社としても長きに渡り大変お世話になっております。私自身も東京科学機器協会SJC様や委員会活動にも参加させて頂いております。業界、協会発展の為に今後とも御協力させて頂ければと存じます。引き続き宜しくお願い申し上げます。